

平成30年度入学生募集

北海道高等聾学校専攻科

入学のしおり



入学説明会 2017.6.9

目 次

情報デザイン科の紹介	2
入学者募集について	8
適性検査に必要なデザイン用具について	10
経費について	11
奨学金について	15
進路先一覧	16

情報デザイン科の紹介

「デザインに関する知識と技術を修得させるとともに、コンピュータを活用した造形活動等を通して、自主的で創造的な態度を身につけさせ、職業自立を図る能力、態度を育てる」という学科の目標を実現するために、本科での基礎的な教育の上に、より専門的な知識と技術を学習し、できるだけ広範囲の教材で作品を制作させ、専門技術者としての資質を高めます。また、学習成果を高豊祭・修了展など校内外で発表したり、校外学習などにより研修や地域との交流を深めていきます。

レタリング検定、ワープロ検定、情報処理検定、色彩検定、マルチメディアクリエイター能力認定試験など、デザインに関する資格を幅広く取得できるようにカリキュラムが組まれており、個々の学生有能力・適性に合った進路選択ができるように配慮しております。

1 教 育 課 程

教科・科目			単位数			
			全	1 年	2 年	
一般教科	現代文		4	2	2	
	数 学		4	2	2	
	体 育		4	2	2	
	(小 計)		(12)	(6)	(6)	
専門教科	デッサン		4	2	2	
	デザイン概論		1	1	－	
	視覚表現		3	1	2	
	造形デザイン		6	3	3	
	インテリアエレメント		7	4	3	
	文書デザイン		2	2	－	
	編集デザイン		2	－	2	
	グラフィックデザイン		5	2	3	
	情報技術Ⅰ		2	2	－	
	情報技術Ⅱ		2	－	2	
	画像処理Ⅰ		2	2	－	
	D T P Ⅰ		2	2	－	
	デザイン製図		2	2	－	
	色彩構成		2	2	－	
	選択Ⅰ	D T P Ⅱ	3	－	3	3
		クラフトデザイン			3	
	選択Ⅱ	絵画表現	2	－	2	2
		C A D			2	
		画像処理Ⅱ			2	
	課題研究		3	－	3	
	(小 計)		(50)	(25)	(25)	
H R			2	1	1	
合 計			64	32	32	

2 教科のねらいと学習内容

● 一般教科

社会生活に必要な基礎学力や一般教養を身につけると共に、健康で安全な生活を送るための基礎を養う。

● 専門教科

○ デッサン

造形表現の基礎となる観察力や把握力を深め、形体や空間などの的確な表現力を高める。

【指導内容】

- a 素描
- b スケッチ
- c ドローイング

○ デザイン概論

デザインの諸領域と概要について学び、デザインに関する基礎的な知識を身に付ける。

【指導内容】

- a デザインの意味
- b デザインの領域
- c デザインの歴史

○ 視覚表現

視覚表現の演習や鑑賞を通して、視覚表現への理解を深めるとともに、視覚表現の発想力と構想力を養う。

【指導内容】

- a 鑑賞
- b 演習

○ 造形デザイン

さまざまな素材・材料の特性を生かしたオブジェやディスプレイ等の計画・制作・設置・展示・鑑賞をとおり、設置・展示する空間と作品とのつながりや、設置・展示する空間を含めた表現について総合的に学習し、実践的なデザインの能力を育てる。

【指導内容】

- a ディスプレイ
- b オブジェ
- c インスタレーション
- d 修了展・校外展の展示作業

○ インテリアエレメント

企画・設計及び製作の一連の工程の実習を通して、製作技術に関する基礎的な能力と態度を育てる。

【指導内容】

- a 家具
- b 照明器具

○ 文書デザイン

コンピュータを利用した文書作成に関する知識と技術を習得させ、テキスト入力によるコミュニケーションの能力を高める。

【指導内容】

- a 日本語ワードプロセッサの操作技術
- b タッチタイピング技能の習得
- c 文書のレイアウト

○ 編集デザイン

情報を適切に処理し、効果的に発信する能力と態度を育てる。

【指導内容】

- a 各種ソフトウェアの連携
- b 文書のレイアウト
- c 文書の編集
- d 簡易 DTP

○ グラフィックデザイン

作品の制作や演習を通して、印刷物を媒体としたデザインにおける基礎的な知識と技術を習得させ、これを印刷に応用する能力を高める。

【指導内容】

- a レタリング技術
- b ペイント系・ドロー系ソフトを使用したチラシ、ポスター、カードの製作

○ 情報技術Ⅰ・Ⅱ

情報処理機器及び情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報技術に関する基礎的な知識と技術を習得させるとともに、情報を主体的に活用しようという態度を育てる。

【指導内容】

- a 情報通信システム
- b 表計算
- c データベース
- d プログラミング
- e ホームページ制作

○ 画像処理Ⅰ

コンピュータを利用した画像技術に関する知識と技術を習得させ、コンピュータを利用した画像表現の能力を育てるとともに、印刷や各種メディアに応用する能力を育てる。

【指導内容】

- a スキャニング
- b 画像処理

○ DTPⅠ

コンピュータを利用した出版・プリプレスに関する基礎的な知識と技術を習得させる。

【指導内容】

- a 印刷についての基礎
- b レイアウトソフトを使った編集
- c 出力に適したデータの作成方法

○ デザイン製図

製図についての基礎的な知識とCADの基本技術を習得させる。

【指導内容】

- a 基礎図形
- b 三角図法
- c CADによる建築基本図の演習

○ 色彩構成

色の基本的な仕組みと配色方法を習得させるとともに、色と形で表現する演習や制作をととして、色と形によるコミュニケーションの基礎的な能力と態度を育てる。

【指導内容】

- a 色の性質と体系
- b 平面による構成
- c 立体による構成
- d コンピュータによるカラーコーディネート

○ 選択1

下記2科目より1科目を選択

・DTPⅡ

コンピュータを利用した出版・プリプレスに関する基礎的な知識と技術を習得させる。

【指導内容】

- a 編集と組版
- b 版面の研究
- c ページ物（書籍）のデータ作成 等

・クラフトデザイン

美的造形性や生産性を主とする立体造形のデザインについての理解を深め、計画力・作図・読図の能力や制作の能力を育てる。

【指導内容】

- a インテリアアクセサリー
- b 装身具の製作 等

○ 選択2

下記3科目より1科目を選択

・絵画表現

様々な表現形式による絵画表現をととして、表現と鑑賞の能力を高める。

【指導内容】

- a 油彩
- b 水彩
- c エアブラシを使ったイラスト制作 等

・CAD

コンピュータによる自動作図の実習をととして、図面を構想し作成する能力と態度を育てる。

【指導内容】

- a 建築・製図 等

・画像処理Ⅱ

コンピュータを利用した画像技術に関する知識と技術を習得させ、コンピュータを利用した画像表現の能力を育てるとともに、印刷や各種メディアに応用する能力を育てる。

【指導内容】

- a 写真の知識
- b カラーマッチング
- c 画像の加工 等

○ 課題研究

専門科目に関する課題を自ら設定し、主体的に取り組むことにより、専門的な知識や技術を深め、創造的な能力と態度を育てる。

【指導内容】

- a 生徒の希望により本学科各科目の発展的内容から選択し、計画をたてて自主的に学習する。
- b 修了作品展へ向け、自ら主題を設定し修了作品を制作する。

選択科目について

希望する進路や適性等に合わせて、2年次にはより専門性の高い内容が深められるよう、「選択科目1」「選択科目2」が設定されています。

選択科目で履修する科目の選択にあたっては、生徒が保護者及び各担当教科担任と十分に相談し、助言を得ながら決定することができるよう、右の日程で進めていきます。

10月中旬……………	第1次希望調査（対象：生徒 選択科目の第1次希望調査を提出）
11月4日(金)……………	保護者懇談会
12月中旬……………	第2次調査（必要に応じて 対象：生徒）
2月中旬……………	教育相談週間（必要に応じて 対象：生徒、保護者）
2月下旬……………	選択科目の決定

3 各種検定試験について

情報デザイン科では、各種検定試験の受験を積極的に支援しております。

〈ねらい〉

- ・検定試験受験を通して、目標を持って学習する姿勢を養う。
- ・受験勉強をすることにより集中力、持続力を養うとともに技術の向上を図る。
- ・資格を取得することによって、学生の進路開拓や就職などの一助とする。

〈本学科で受験を支援している検定〉

クリエイター能力認定試験（Illustrator 検定、Photoshop 検定）

Web クリエイター能力認定試験

レタリング検定

美術検定

色彩検定

色彩士検定

キータッチ 2000 テスト

Word 文書処理技能認定試験

Excel 表計算処理技能認定試験

日商 PC 検定（文書作成・データ活用）

実践日本語コミュニケーション検定(PJC)

ビジネス著作権検定（ベーシック・初級・上級）

C 言語プログラミング能力認定試験

Java プログラミング能力認定試験

4 学科の特色ある活動

※ 実施期日は 29 年度のものであります。

- | | |
|----------------------------|--|
| (1) 校外学習 | 各科目の学習内容に沿って実施
【主な内容】
・企業見学
・美術館、美術展の作品鑑賞
・専門学校等 見学・交流
・その他 |
| (2) 保護者懇談会 | 4 月 29 日（土）・11 月 2 日（木） |
| (3) 教育相談週間
（対象：本人及び保護者） | 1 年次：2 月中旬（必要に応じて）
2 年次：6 月下旬（必要に応じて） |
| (4) 就業体験 | 5 日間（1 年次 10 月下旬） |
| (5) 高聳祭 | 7 月 22 日（土）・23 日（日）
（学習の一環としてディスプレイ制作・作品展示） |
| (6) 修了作品展 | 2 月 21 日（水）～ 25 日（日） |

※ 学科便り 毎月発行予定

5 年間活動予定

前 期	4 月	入学式 オリエンテーション 学生会総会・歓迎会 身体測定 各種検診 授業参観日
	5 月	(連続休業日) 健康診断 校外学習 (専門学校見学・印刷会社見学)
	6 月	[前期中間考査] レタリング検定 職業相談会 色彩検定 教育相談週間
	7 月	クリエイター能力認定試験 (Photoshop,Illustrator) 高聳祭(学校祭) 終業式 夏季休業
	8 月	夏季休業 始業式
	9 月	Web クリエイター能力認定試験 [前期期末考査] 校外学習 (美術館・美術展の作品鑑賞) キータッチ 2000 テスト 色彩士検定
後 期	10 月	Word 文書処理技能認定試験 Excel 表計算処理技能検定試験 学生会総会 就業体験
	11 月	保護者懇談会 ビジネス著作権検定 美術検定
	12 月	[後期中間考査] 終業式 冬季休業
	1 月	冬季休業 始業式 クリエイター能力認定試験 (Photoshop,Illustrator) Web クリエイター能力認定試験 色彩士検定
	2 月	[修了学年：学年末考査] Word 文書処理技能認定試験 Excel 表計算処理技能検定試験 C 言語プログラミング能力認定試験 Java プログラミング能力認定試験 教育相談週間 学生会総会 修了作品展
	3 月	修了式 (卒業式) [学年末考査] 終業式

入学者募集について（参考資料）

正式な日程等については 12 月上旬に北海道教育委員会より告示されます。

1 募集人員及び修業年限

学 科	募集人員	修業年限
情報デザイン科	8 名	2 年

2 出願資格

北海道高等聾学校（専攻科）に出願できるのは、次に該当する者で、かつ、聴覚障害者であること。

ア 特別支援学校（平成 19 年 3 月以前に設置されていた盲学校、聾学校及び養護学校を含む）の高等部又は高等学校を卒業した者（平成 30 年 3 月末日までに卒業見込みの者を含む）

イ 中等教育学校を卒業した者（平成 30 年 3 月末日までに卒業見込みの者を含む）

ウ 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者

エ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）

オ 北海道高等聾学校長が、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

3 出願期間

平成 30 年 1 月上旬から中旬までの期間。

4 出願手続

出願者は、次の書類を、現に在学している、又は卒業した特別支援学校（平成19年 3 月以前に設置されていた盲学校、聾学校及び養護学校を含む）又は高等学校等の校長を経由して北海道高等聾学校長に提出すること。

ア 入学願書 （所定の用紙）

イ 身上書 （所定の用紙）

ウ 健康診断書 （所定の用紙）

エ 写真 （縦 7×横 5cm）※平成 29 年 10 月 1 日以降に上半身を正面から撮影のもの

オ 受検票 （写真台紙共、所定の用紙）

カ 個人調査書 （在学学校等の校長が作成）

キ 卒業(見込)証明書

5 出願先及び受検会場

〒047-0261 小樽市銭函 1 丁目 5 番 1 号

北海道高等聾学校 （職員室）Tel 0134-62-2708 Fax 0134-62-2625

[専攻科] （事務室）Tel 0134-62-2624 Fax 0134-62-2663

6 選考検査及び合格発表

合格者の発表は、下記の場所に掲示するとともに、本人に通知する。

選考検査の期日	合格発表の期日	合格発表の場所と時間
平成30年1月下旬	平成30年2月中旬	北海道高等聾学校 午前9時

7 選考方法

入学者の選考に当たっては、次の選考検査の結果及び個人調査書を総合的に評価し、選考する。

- (1) 学力検査…………… 現代文及び一般教養（検査時間：50分）
- (2) 適性検査…………… ①デッサン（検査時間：60分） ②平面構成（検査時間：60分）
- (3) 障害状況調査… 身上書、健康診断書による
- (4) 面接…………… 出願者及び保護者

8 選考検査に持参するもの

- (1) 受検票
 - (2) 筆記用具
 - (3) 適性検査に必要な用具
 - ・鉛筆デッサン用具：鉛筆 HB～2B、鉛筆削り、消しゴム、練りゴム 等
 - ・平面構成用具：ポスターカラー、溶き皿、筆洗、定規、三角定規、スポイト 等
- ※ 本校で用意するもの：用紙・色紙・ハサミ・のり・画板

9 第2次募集

合格者の数が募集人員に達しないときは、第2次募集を行う。

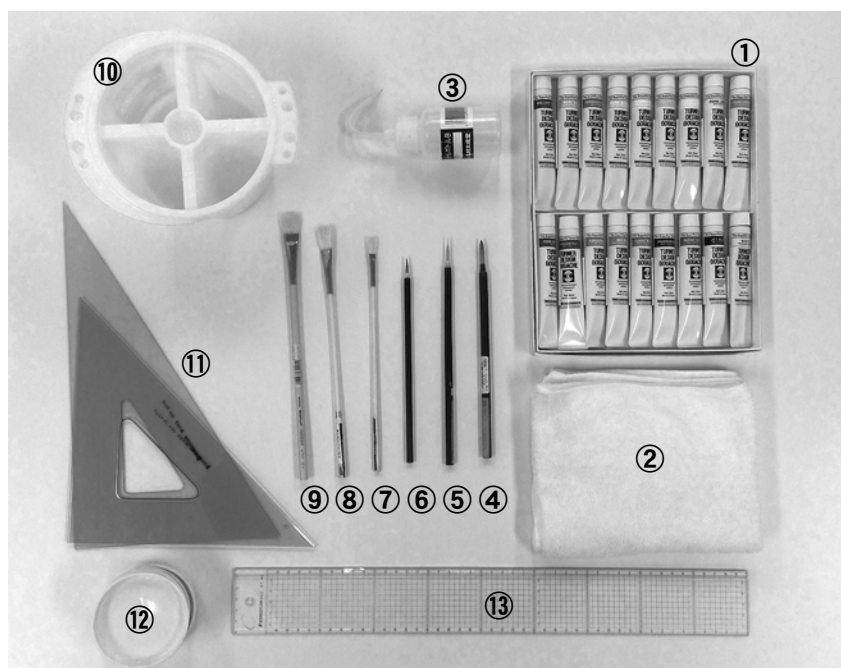
10 その他

入学者のうち、通学が困難な者は、寄宿舍に入舎する事ができる。

適性検査に必要なデザイン用具について

適性検査では下記のような用具が必要です。同等のものであれば全く同じものでなくても結構です。ご自分のものを検査会場にご持参ください。

平面構成



- ①ポスターカラー（デザインガッシュ） ②雑巾
③スポイト（水差しボトル） ④彩色筆 ⑤⑥面相筆
⑦～⑨平筆 ⑩筆洗 ⑪三角定規 ⑫とき皿 ⑬直定規

デッサン



- ⑭デッサン用ネリゴム
⑮鉛筆は HB～2B を使用
⑯鉛筆削り（ナイフ）

参考価格（デザイン用具セット）

品 名	金額（単位 円）
① ポスターカラー（ターナーデザインガッシュ 25ml・18色セット）	5,105
③ スポイト（アートカラー スポイトオリジナルボトル B）	345
④ 彩色筆（ホルベインリセーブルゴシック No.6）	708
⑤ 面相筆（精雲堂ナイロン毛面相筆大）	388
⑥ 面相筆（ホルベイン図案筆 面相 NO.3）	432
⑦ 平筆（ナムラデザイン筆 1号 53-001）	518
⑧ 平筆（ナムラデザイン筆 3号 53-003）	777
⑨ 平筆（ナムラデザイン筆 5号 53-005）	1,123
⑩ 筆洗（バケツ型筆洗四つ仕切り）	259
⑪ 三角定規（ドラパス 13-602）	1,512
⑫ とき皿（瀬戸理科プラスチックとき皿 5枚組）	310
⑬ 溝付き定規（ステッドラーカッタースケール 962-07-45）	1,900
⑭ ホルベイン ネリゴム No.5	103
合 計	13,480

※ フルセットご購入の場合の参考価格です。金額は調査時のもので改定される場合があります。
※ 雑巾、鉛筆、鉛筆削りは上記セットには含まれていません。別途ご用意ください。

経費について

※ この資料に掲載されている金額は、前年度の実績に基づき算出されたものです。正式な金額は合格通知発送時に添付される文書で改めてお知らせします。

1. 学校納入金（年度始めにお支払いいただく経費）

項 目	金額（単位 円）	備 考
共済掛金	1,650	日本スポーツ振興センター掛金
就業体験等保険料	250	インターンシップ・ボランティア等 体験活動賠償責任保険 保険料
高聳祭負担金	2,000	学校祭
PTA 会費	4,800	400 円×12 ヶ月分
教育活動費	15,600	1300 円×12 ヶ月分 進路指導・卒後支援等
各種検査料	240	
よつば会（寄宿舍）費	300	寄宿舍に入られる場合のみ 各種行事の食費等
計	24,840	

- 新入生は入学式当日に現金でお支払いください。
- 2 年生は 4 月に郵便振込にて納入をお願いしています。

2. デザイン用具（入学時に購入）

項 目	金額（単位 円）	備 考
水彩色鉛筆	2,954	ファンカラー 水溶性色鉛筆 18 色
配色演習用色票	673	日本色研新配色カード 199a
クロッキーブック	691	セクションクロッキー（マルマン#227）
デッサン用鉛筆	960	三菱ハイユニ鉛筆（4B～2H）8 本
ツールボックス	1,900	ホルバインラブリーBOX 大 No.86
計	7,178	

- 適性検査に用いるデザイン用具とは別に上記の用具を購入いただきます。入学式当日にデザイン用具販売業者が販売しますので現金でお支払いください。
- 同等のものをお持ちであれば購入いただくなくても結構です。その場合は事前にお知らせください。

3. 教科書代

- 特別支援教育就学奨励費の支給対象です（特別支援教育就学奨励費については 13 頁の 5 をご覧ください）。
- **いったんお支払いいただきますが、後日全額支給されます**（領収書を添付した**申請が必要です**。購入時に業者から渡される領収書を申請書に添付し、事務へ提出してください。申請書は当日お渡しします）。
- 入学式当日に教科書販売業者が販売しますので現金でお支払いください。
- 同じものをお持ちであれば購入いただかなくても結構です。その場合は事前にお知らせください。

参考金額（単位 円）	備 考
22,658	前年度の参考金額です。いったんお支払いいただきますが、 申請により後日全額支給されます 。 使用する図書の一覧につきましては、合格発表後に送付される文書にてお知らせします。

4. 給食費及び寄宿舎食費

- 特別支援教育就学奨励費の支弁区分によって御負担額が異なります（特別支援教育就学奨励費については 13 頁の 5 をご覧ください）。

項 目	単 価（単位 円）	支弁区分	1 ヶ月分 （御負担額）	備 考
学校給食費	310	第Ⅰ区分	自己負担なし	
		第Ⅱ区分	半額自己負担	1 ヶ月 3,000 円程度
		第Ⅲ区分	全額自己負担	1 ヶ月 6,000 円程度
寄宿舎食費 （寄宿舎に入られる場合のみ）	朝食：230 昼食：310 （学校給食がない日の昼食） 夕食：370	第Ⅰ区分	自己負担なし	年間の支給限度額（139,750 円）を超えた分は全額負担
		第Ⅱ区分	半額自己負担	年間の支給限度額（69,875 円）を超えた分は全額負担
		第Ⅲ区分	全額自己負担	

- 納入が必要な場合にその都度お知らせいたします。

5. 特別支援教育就学奨励費について

(1) 特別支援教育就学奨励費とは

障害のある幼児児童生徒が特別支援学校や小学校・中学校の特別支援学級等で学ぶ際に、保護者が負担する教育関係経費について、家庭の経済状況等に応じ、国及び地方公共団体が補助する仕組みです。

(2) 支給の対象となる経費

就学奨励費は年間限度額の範囲内で、保護者が負担した実費に基づき、「支弁区分」に応じた割合で支給されます。支弁区分は保護者の世帯の経済的状況、家族構成等に応じて決定されます。収入に応じて、第Ⅰ区分・第Ⅱ区分・第Ⅲ区分の3つに区分されます。

(3) 支給額

支給対象 経費名		支弁区分			摘要
		第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分	
教科用図書 購入費		全額支給			年度始めに購入する教科書代です。領収書を添付した申請が必要
学校給食費		全額支給	半額支給	支給なし	委任状により学校給食会計に充当
寄宿舎居住に伴う経費	寄宿舎食費	年間限度額 139,750 円まで 全額支給	年間限度額 69,875 円まで 半額支給	支給なし	委任状により寄宿舎給食会計に充当
	帰省費	年間 39 往復まで 全額支給	年間 39 往復まで 半額支給	支給なし	最も経済的な通常の経路及び方法により計算した額を支給します
	日用品等 購入費	限度額 138,980 円まで 全額支給	限度額 69,875 円まで 半額支給	支給なし	寄宿舎居住に伴い購入した支給対象品目の実費を支給 領収書を添付した申請書を 審査の上、支給します
通学に伴う経費	通学費	全額支給	半額支給	支給なし	最も経済的な通常の経路及び方法により計算した額を支給します
職場実習 交通費		実費	実費の半額	支給なし	就業体験にかかる交通費を支給
職場実習 宿泊費		年間限度額 7,380 円まで 全額支給	年間限度額 3,690 円まで 半額支給	支給なし	就業体験にかかる宿泊費を支給

- 金額は、平成 28 年度の額です。正式な決定金額は例年 6～7 月頃になります。
- 支弁区分決定後の第 1 回目の支給は、8 月上旬～下旬になります。

6. 制服について

専攻科では制服を定めていません。ただし、儀式的行事に参加するときや、対外的に必要なときにはスーツを着用することとしています。また、普段の学習時においてもスーツ着用を推奨しています。

スーツについては、色は濃紺、または黒の無地、白のワイシャツ（ブラウス）男子についてはネクタイを着用とします。また、履物もスーツに相応しいものとします。

入学式までにご準備をお願いします。

参考例→



奨学金について

人物・学業などが優れているにもかかわらず、学費の支払いが困難な学生に対して、次のような奨学金制度があります。

奨学金は、各団体によって募集人員・推薦基準・受給額・返済方法などが異なります。

受給者は、志願者の中から、校内審査、各団体の審査を経て決定されます。

1 奨学金の種類

(1) 北海道高等学校奨学会

貸与月額 ① ￥10,000

② ￥15,000

③ ￥20,000

④ ￥25,000

} 希望する月額を選ぶ

卒業後返済 あり（無利子）12年以内

(2) 道新コスモス奨学金

給与月額（1年間） 5,000円

返 済 なし

2 志願の手順

- (1) 合格発表の後、奨学金申込書を学校に提出
- (2) 校内審査（本人の成績、家庭の状況などを考慮）
- (3) 推薦決定（願書その他、書類を本人に送付）
- (4) 学校へ願書などの書類を提出
- (5) 各団体で審査し、採用を決定
- (6) 奨学金の受給（数ヶ月後、4月にさかのぼって支給）

進路先一覧

年度	進 路 先	地 域
1 2	社会福祉法人北海道リハビリー リハビリーエイト	北広島市
1 2	国立障害者リハビリテーションセンター	埼玉県
1 2	北海道浅井学園大学	江別市
1 2	ホンダプリモ千歳	千歳市
1 2	花和アートホビー	札幌市
1 2	タカ企画	札幌市
1 2	株式会社美巧製版（2名）	札幌市
1 3	社会福祉法人札幌福祉印刷	札幌市
1 3	北海道浅井学園大学	江別市
1 3	富士屋食堂 帯広運転免許試験場店	帯広市
1 3	株式会社からびな	札幌市
1 4	エレコム株式会社	札幌市
1 4	株式会社からびな	札幌市
1 4	社会福祉法人 北海道リハビリー リハビリーエイト	北広島市
1 5	有限会社ドットアップ（2名）	札幌市
1 5	知的障害者通所授産施設 あすなろ学園	江差町
1 5	社会福祉法人 札幌福祉印刷	札幌市
1 5	社会福祉法人 北海道リハビリー クリーナース	北広島市
1 5	ホクレン	札幌市
1 5	北海道浅井学園大学	江別市
1 6	スズキ	静岡県
1 6	住彩	岐阜県
1 6	プラザ	札幌市
1 6	北海道浅井学園大学	江別市
1 6	社会福祉法人クピドフェア	岩見沢市
1 7	有限会社 石田製本	札幌市
1 7	小樽観光企画	小樽市
1 8	ミックス株式会社（2名）	札幌市
1 8	ミックス株式会社	函館市
1 8	アイワード株式会社	札幌市
1 8	アベイル	函館市
1 8	社会福祉法人北海道リハビリー リハビリーエイト	北広島市
1 9	国立障害者リハビリテーションセンター	埼玉県
1 9	ほほえみ共同作業所	札幌市
1 9	株式会社北電アソシエ	札幌市
1 9	総合商研株式会社	札幌市

19	北洋銀行	札幌市
20	三菱商事太陽株式会社	岩見沢市
20	国立障害者リハビリテーションセンター（2名）	埼玉県
20	株式会社新宮商行	小樽市
20	株式会社アイワード	札幌市
20	資生堂販売株式会社	札幌市
20	社会福祉法人クピドフェア	岩見沢市
21	総合商研株式会社	札幌市
21	指定障害者支援施設わかふじ寮（2名）	新得町
21	社会福祉法人自立センター ジョブトレーニングセンターあらんじえ	釧路市
21	株式会社ルネサス北日本セミコンダクタ	七飯町
21	社会福祉法人クピドフェア（2名）	岩見沢市
22	国立障害者リハビリテーションセンター（2名）	埼玉県
22	指定障害者支援施設わかふじ寮	新得町
22	北翔大学	江別市
22	株式会社デンソー	愛知県
22	トヨタ車体株式会社	愛知県
23	北海道情報大学	江別市
23	株式会社新宮商行	小樽市
23	上原ネームプレート工業株式会社	旭川市
23	日本 ATM ヒューマン・ソリューション株式会社	江別市
23	聴覚障害者支援センターほほえみ	札幌市
23	社会福祉法人セルプさっぽろ	札幌市
23	社会福祉法人クピド・フェア	岩見沢市
24	株式会社龍文堂	札幌市
24	北洋銀行	札幌市
24	社会福祉法人羊蹄セルプ	倶知安町
25	東京障害者職業能力開発校	東京都
25	株式会社健誠社	旭川市
25	株式会社イノバイト	札幌市
25	指定障害者支援施設わかふじ寮	新得町
26	株式会社光ハイツ・ヴェラス	札幌市
26	北海道障害者職業センター	札幌市
27	北海道宏栄社	小樽市
27	就労サポートセンター紙風船	苫小牧市
27	指定障害者支援施設わかふじ寮	新得町
28	社会福祉法人クピド・フェア	岩見沢市